

(表1) 国立大学病院 卓越したジェネラリストクリニカルラダーフレームワーク (案)

特別委員会A委員会作成

平成30年5月24日

レベル		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
定義		助言や指導を受けながら基本的な臨床実践ができる	倫理性をもち、自立して対象者の健康と生活を支える臨床実践ができる	高い倫理性を身につけ、対象者の健康と生活を支える実践モデルとなることができる	チーム医療のキーパーソンとしてあらゆる状況において最適なケアマネジメントができる
臨床実践レベル		助言を受けてできる	一人のできる	拡げる・深める・指導できる	創造・調整・教育できる
活動(ケア)の対象者		受け持ちの患者・家族	看護ケアチームの患者・家族	部署の患者・家族	あらゆる対象
協働する対象者		同僚・多職種	同僚・多職種・学生・地域の医療福祉職	同僚・多職種・学生・スペシャリスト・地域の医療福祉職	あらゆる対象
役割		看護ケアチーム及び医療チームのメンバー	看護ケアチーム及び医療チームのメンバー 部署の役割	指導者・看護チームのリーダー	指導者・ケアマネジメント医療チームのキーパーソン
看護実践能力 看護師の看護実践に必要な能力	ニーズをとらえる力 対象者のニーズをとらえ判断し、その人に適した方略を選択する。				
	ケアする力 ケアの実施・評価を行う。				
	協働する力 対象者の情報を多職種間*で共有し、ケアの方向性を検討し、連携する。 *スペシャリスト・地域を含む				
	意思決定を支える力 様々な場面において、その人らしい選択ができるための意思決定を支える。				
組織的役割遂行能力 安全で効率的な組織運営に必要な役割を遂行する能力	マネジメントする力 組織や管理において必要とされる役割を理解し、責務を果たす。				
	チームで働く力 医療チームメンバーと合意形成を促し、求められる役割を遂行する。				
人間関係形成能力 同僚や多職種と良好な関係を築き協働できる能力	良好な関係性を形成する力 対人関係において、効果的な手段を用いて良好な関係を形成する。				
	セルフコントロールする力 ストレスマネジメントを適切に行い、対象や場面に応じ、感情・思考・行動をコントロールする。				
教育研究能力 キャリア開発を推進する能力 学生や同僚の成長を促し教育的関わりができる能力 看護の質保証・質向上を図ることができる能力	探求・創造する力 リサーチマインドを持ち、科学的根拠のある看護を創造する。				
	学び向上する力 自己の能力開発を行い、看護職として専門性を高める。				
	教え育む力 専門職として成長できるよう、他者に働きかける。				

*臨床実践能力：4つの能力および下位項目とその定義を示す。

臨床実践レベル概念図

段階	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
臨床実践 レベル				論理性・多角的・複雑な 効果・最適(質)
			予測性・優先度	
			潜在的	
		顕在的		
		緊急時 個別的		
		緊急時 標準的		
	基本的			
				創造できる 調整できる 教育できる
	助言を受けてできる	一人でできる	拡げる・深める 指導できる	